

2024年11月13日

各位

会社名 フロンティア・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 大西 正一郎
 (コード番号：7038 東証プライム市場)
 問合せ先 執行役員 カンパニー企画管理部門長 濱田 寛明
 (TEL. 03-6862-8335)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期通期連結業績予想の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,000	百万円 1,620	百万円 1,570	百万円 1,000	円 銭 85.33
今回修正予想 (B)	9,000	△950	△1,030	△870	△74.12
増減額(B-A)	△4,000	△2,570	△2,600	△1,870	—
増減率(%)	△30.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	10,025	1,251	1,238	780	67.51

2. 修正の理由

2024年12月期通期の連結業績は、経営コンサルティング事業においては、採用計画に沿った人員増加の効果に加え、特にDXコンサルティングが大きく伸長したことと大企業からの受注増が寄与し、前年同期比では増収を維持していますが、期初計画は未達となる見込みです。

M&Aアドバイザー事業においては、当期中にクロージングに至る確度を案件ごとに精査した結果、大型のM&A成功報酬を計上した前年同期と比べて大幅な減収となる見込みであり、期初計画からも大幅な未達となる見込みです。

再生支援事業においては、再生案件の受注は堅調に推移したものの、大型案件が終了したこと等が影響し、前年同期比では減収となる見込みです。

上記により、当期通期の連結売上高は前回発表予想を下回る見込みであり、利益面につきましても、前述のM&Aアドバイザー事業の大幅な減収を主たる要因として、前回発表予想を下回る見込みです。

この結果、当期通期の連結売上高予想は前回発表予想から4,000百万円減少して9,000百万円、営業利益は2,570百万円減少して950百万円の損失、経常利益は2,600百万円減少して1,030百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純利益は1,870百万円減少して870百万円の損失となる見込みです。

なお、業績予想下方修正における営業損失の発生を重く受け止め、以下の施策を実行いたします。

- ① 大西代表取締役の今年度固定報酬2か月分を削減
- ② 取締役に対する譲渡制限付株式報酬の合意解約
- ③ 不振部門を中心に管理職賞与の削減
- ④ 不要不急コストの削減・停止

また、業績不振の根本課題に対処し、新たな成長に向けた構造改革案を検討しております。

- ① 大幅な生産性改善を図り、コスト構造を抜本的に見直す
- ② 次世代経営幹部の抜擢を進め、より活性化し多様性のある新しい経営チームへ変革
- ③ 業績不振の最大要因となったM&Aアドバイザー事業を大西代表取締役が統括し、ボラティリティ（受注・成約面）が相対的に低い国内M&A案件の収益基盤の再強化をベースに、基本的な事業立て直しを図る。また、海外M&A案件については、成約確率を吟味の上での受注を図る
- ④ 今年度分散したコンサルティング系部門を機能軸で再統合し、強みあるソリューションに経営資源を集中
- ⑤ 営業部門については、相互の連携強化を図るとともに集約再編事業法人（投資ファンド等も含む）向け営業及びM&A営業の強化を図る

上記の構造改革案をベースとして中期経営計画を再策定し、2025年2月の通期決算発表時の公表を予定しております。

(注)上記業績予想は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想とは異なる場合があります。

以上